

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●戸崎圭太騎手がJRA通算1400勝を達成

8月12日(土)の3回新潟1日・第6レースではキャプテンネギが1着となり、同馬に騎乗した戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)は、史上25人目、現役では11人目となるJRA通算1400勝(9680戦目)を達成しました。

### ●北村友一騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

8月13日(日)の2回札幌2日・第6レースでナオミニデレデレヤに騎乗した北村友一騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上51人目、現役では35人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

### ●横山和生騎手がシャーガーカップで勝利をあげる

現地8月12日(土)、イギリスのアスコット競馬場で行われた「ドバイデューティフリー シャーガーカップ」に出場した横山和生騎手(美浦・フリー)は、5鞍に騎乗して1着、7着、4着、4着、7着、計25ポイント獲得という結果でした。なおホリー・ドイル騎手が48ポイントでシルバーサドル賞(最多ポイント獲得騎手)に輝き、チーム対抗戦はドイル騎手を擁する女性騎手選抜チームが78ポイントで優勝、横山騎手ら世界選抜チームは73ポイントで第2位となりました。

### ●ジョッキーベイビーズの関東地区・九州地区代表が決定

8月9日(水)、千葉県白井市のJRA競馬学校にて全国ポニー競馬選手権「第13回ジョッキーベイビーズ」の関東地区代表決定戦が実施され、山中怜佳さん(小学6年生・長谷川ライディングファーム)と荻野杏ローズさん(小学6年生・ホースライディングクラブ バランス)が同地区代表に決定しました。また8月11日(祝・金)には宮崎県宮崎市のJRA宮崎育成牧場で九州地区代表決定戦が実施され、川崎瑛太さん(小学4年生)が同地区代表に決定しました。決勝大会は10月8日(日)、東京競馬場で行われる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●リメイクがクラスターC(盛岡)で人気に応え2度目の重賞制覇

クラスターC(JpnⅢ、8月15日、盛岡、1200<sup>米</sup>)は、中団から差を詰めたリメイク(川田将雅騎手、牝4歳、父ラニ)が、逃げた2番人気のドンフランキーを残り200<sup>米</sup>で内から捉えて2馬身半差を付け、単勝1.6倍の支持に応えてカペラSに次ぐ重賞制覇。3番人気の一昨年の優勝馬リュウノユキナは3着、昨年の覇者オーラテソローは4着、サンライズホークは9着に敗れています。

### ●テリオスベルがブリーダーズゴールドC(門別)を逃げ切り圧勝

ブリーダーズゴールドC(JpnⅢ、8月17日、門別、2000<sup>米</sup>)は、先手を取った2番人気のテリオスベル(江田照男騎手、牝6歳、父キズナ)が1番人気の3歳馬パラバトルマリンを4馬身引き離し、クイーン賞に続くJpnⅢ2勝目を挙げました。カラフルキューブが3着、3番人気のプリティーチャンスは4着、初ダートのグランスラムアスクは7着でした。

### ●霧島賞(佐賀)はJRAの熊本県天草市産馬イチザウイナー

九州産馬限定の霧島賞(3歳以上、8月16日、佐賀、1400<sup>米</sup>、JRA所属馬は2勝クラス)は、4番手を進んだ2番人気のイチザウイナー(山下裕貴騎手=佐賀、牝4歳、父ヴァンセンヌ)がゴール寸前で差し切り、3着だった昨年の雪辱を果たしています。

### ●川原正一騎手(兵庫)が最高齢重賞勝利記録を更新

兵庫の川原正一騎手は、8月10日に園田競馬場で実施された兵庫ジュベナイルCに64歳4か月27日で優勝し、判明している限りでの国内の最高齢重賞勝利記録を更新しました。従来の記録は、的場文男騎手(大井)の62歳12日でした。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1アーリントンミリオン〜セットピースがG1初制覇

現地8月12日にアメリカ・バージニア州のコロニアルダウンズ競馬場で行われたG1アーリントンミリオン(3歳上、芝2000<sup>米</sup>)は、F.ジェルー騎手を背にしたセットピース(驕7歳、父ダンシリ、B.コックス厩舎)が最後方からの追い込みを決めてG1初制覇を果たしました。2馬身差の2着に昨年の覇者サンティーン。勝ちタイムの1分58秒19はコースレコードです。なお、アーリントンミリオンはアーリントン競馬場(イリノイ州)を代表するレースでしたが、一昨年に同競馬場が閉鎖されたことに伴って昨年はチャーチルダウンズ競馬場(ケンタッキー州)で施行。今年は開催場を再度移しての開催でした。

### ●G1ジャックルマロワ賞〜インスパイラルが連覇

8月13日にフランスのドーヴィル競馬場で行われたG1ジャックルマロワ賞(3歳上牝・牝、芝1600<sup>米</sup>)は、L.デットーリ騎手が手綱を取ったインスパイラル(牝4歳、父フランケル、英J&T.ゴズデン厩舎)が最後方待機から鋭く伸びて優勝。このレース連覇を果たしました。インスパイラルは、ほかにG1フィリーズマイル(芝1600<sup>米</sup>)とG1コロネーションS(芝1590<sup>米</sup>)も制しており、これで4つ目のG1勝ち。前走のG1サセックスSは道悪がこたえて最下位5着でしたが、そこから中10日の競馬で見事に巻き返しました。